



本田氏初当選

富塚氏の4選阻む

県議の経験 市民支持

田村市長選



万感三唱で当選を喜ぶ本田氏(右)と妻二八子さん。日午後9時45分ごろ、田村市船引町の選挙事務所

任期満了に伴う田村市長選は9日、投票が行われ、即日開票の結果、無所属新人で前県議の本田仁一氏(54)「自民推薦」が、無所属現職の富塚有暉氏(71)に4541票差をつけて初当選を果たした。投票率は72.32%だった。

田村市長選開票結果

		(選管最終、敬称略)	
当	13,843	本田仁一	54 無新
	9,302	富塚有暉	71 無現

市議補選は白石氏

同日選の市議補選(欠員1)は新人の団体職員白石勝彦氏(63)が当選した。

町村合併に伴い2005(平成17)年に市が誕生して以降初の選挙戦では、市の将来像をどう示せるかが争点となった。県議としての経験や人脈を生かして産業創出、子育て支援策を訴えた本田氏の支持が広がり、有権者は「市政刷新」を選択した。富塚氏は3期12年の実績を強調したが浸透しきれず、4選を阻まれた。新市長の任期は17日から4年。

【本田仁一氏略歴】船引高卒。県議2期、田村市議2期、常葉町議3期、自民党県連青年局長。田村市常葉町西向字中97の1